

図画工作－１（第２学年） 形や色などについての気づきを深める事例

【学習活動の概要】

<p>1 題材名 私の色紙</p>												
<p>2 題材の目標                  絵の具などを用いて、好きな色を選んだり、いろいろな形をつくったりしながら表すとともに、形や色について感じたことを話したり、友人の話を聞いたりしながら作品を見ることを楽しむ。</p>												
<p>3 評価規準                  【造形への関心・意欲・態度】 絵の具やカラーペンなどを使って思いのままに表すとともに、形や色などから自分や友人の作品を見ることを楽しもうとしている。                  【発想や構想の能力】 絵の具やカラーペンなどから生まれた形や色などから、表したいことを見付けている。                  【創造的な技能】 絵の具やカラーペンなどを使いながら、表し方を考えて表している。                  【鑑賞の能力】 自分が感じたことを話したり、友人の話を聞いたりしながら、作品の形や色、イメージなどについて考えている。</p>												
<p>4 題材                  本題材は、形や色などを手がかりに、絵の具などを使って思いのままに表すとともに、自分が感じたことを話したり友人の話を聞いたりしながら作品を見ることを楽しむ活動である。                  児童は、まず、自分の画用紙に、共用絵の具、カラーペンなどを用いて様々な方法で「私の色世界」を表す。そこから、自分が「面白い」「楽しい」と思う部分をはさみで切り取って「私の色紙」をつくり、その裏に形や色から思い付いた「ことば」をつける。これを基に、友達と「絵合わせ」や「言葉合わせ」などの「アートゲーム」を行い、作品を見ることを楽しむ。                  このとき、形や色、イメージなどの〔共通事項〕の視点を生かした学習活動の展開を工夫することによって、形や色などに対する一人一人の気づきが深まるように言語活動を充実させ、本題材がねらう「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」を高めようと考えた。</p>												
<p>5 主な学習活動                  (1)題材の展開（全3時間）</p>												
<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="159 1243 271 1310">時間</th> <th data-bbox="271 1243 957 1310">学習活動</th> <th data-bbox="957 1243 1428 1310">言語活動に関する指導上の留意点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="159 1310 271 1489">1時間</td> <td data-bbox="271 1310 957 1489">                     1. 「私の色世界」をつくる。                      ・共用絵の具などを用いて、色が生まれることを楽しむように「私の色世界」を表す。                 </td> <td data-bbox="957 1310 1428 1489">                     ・思いのままに表現する子どもに寄り添いながら、形や色に関する気づきや表現の試みなどに共感的に言葉を交わす。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1489 271 1758">1時間</td> <td data-bbox="271 1489 957 1758">                     2. 「私の色紙」をつくる。                      ・はさみを用いて「私の色世界」から「私の色紙」になる部分を切り取る。                      ・「私の色紙」の裏に、形や色などから自分の思い付いた「ことば」を書き入れる。                      ・必要に応じてカラーペンなどでかき加える。                 </td> <td data-bbox="957 1489 1428 1758">                     ・「私の色世界」の「どこ」を選ぶのかを考えさせることで形や色に関する気づきを確かにする。                      ・「ことば」を書く際には、「どのような」形や色からそう思ったのか尋ね、児童一人一人の気づきを深めるようにする。                 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="159 1758 271 1971">1時間</td> <td data-bbox="271 1758 957 1971">                     3. 「アートゲーム」を行う。                      ・自分たちで方法を工夫しながら、「絵合わせ」「言葉合わせ」などの「アートゲーム」を行う。                 </td> <td data-bbox="957 1758 1428 1971">                     ・「アートゲーム」のルールは柔軟に考え、自分が感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどの言語活動がより充実するようにする。                 </td> </tr> </tbody> </table>	時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点	1時間	1. 「私の色世界」をつくる。 ・共用絵の具などを用いて、色が生まれることを楽しむように「私の色世界」を表す。	・思いのままに表現する子どもに寄り添いながら、形や色に関する気づきや表現の試みなどに共感的に言葉を交わす。	1時間	2. 「私の色紙」をつくる。 ・はさみを用いて「私の色世界」から「私の色紙」になる部分を切り取る。 ・「私の色紙」の裏に、形や色などから自分の思い付いた「ことば」を書き入れる。 ・必要に応じてカラーペンなどでかき加える。	・「私の色世界」の「どこ」を選ぶのかを考えさせることで形や色に関する気づきを確かにする。 ・「ことば」を書く際には、「どのような」形や色からそう思ったのか尋ね、児童一人一人の気づきを深めるようにする。	1時間	3. 「アートゲーム」を行う。 ・自分たちで方法を工夫しながら、「絵合わせ」「言葉合わせ」などの「アートゲーム」を行う。	・「アートゲーム」のルールは柔軟に考え、自分が感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどの言語活動がより充実するようにする。
時間	学習活動	言語活動に関する指導上の留意点										
1時間	1. 「私の色世界」をつくる。 ・共用絵の具などを用いて、色が生まれることを楽しむように「私の色世界」を表す。	・思いのままに表現する子どもに寄り添いながら、形や色に関する気づきや表現の試みなどに共感的に言葉を交わす。										
1時間	2. 「私の色紙」をつくる。 ・はさみを用いて「私の色世界」から「私の色紙」になる部分を切り取る。 ・「私の色紙」の裏に、形や色などから自分の思い付いた「ことば」を書き入れる。 ・必要に応じてカラーペンなどでかき加える。	・「私の色世界」の「どこ」を選ぶのかを考えさせることで形や色に関する気づきを確かにする。 ・「ことば」を書く際には、「どのような」形や色からそう思ったのか尋ね、児童一人一人の気づきを深めるようにする。										
1時間	3. 「アートゲーム」を行う。 ・自分たちで方法を工夫しながら、「絵合わせ」「言葉合わせ」などの「アートゲーム」を行う。	・「アートゲーム」のルールは柔軟に考え、自分が感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどの言語活動がより充実するようにする。										

## [解説]

### 【指導事例と学習指導要領との関連】

小学校学習指導要領 第1学年及び第2学年において、A表現(2)絵や立体、工作「イ好きな色を選んだり、いろいろな形をつかって楽しんだりしながら表すこと。」、B鑑賞(1)「イ感じたことを話したり、友人の話を聞いたりするなどして、形や色、表し方の面白さ、材料の感じなどに気付くこと。」とある。

これは、低学年の児童にとって、活動そのものを楽しむことを通して形や色をとらえることが重要であることを示している。また、話したり聞いたりする活動を通して、形や色などについて新しい気付きが生まれることを示している。

本題材では、まず、形や色をつくりだすことを楽しみながら「発想や構想の能力」や、「創造的な技能」が高まるようにしている。次に、〔共通事項〕を手がかりに自分の感じたことを話したり、友人の話を聞いたりする鑑賞活動を行うことで、児童の形や色などに対する気付きが深まるように題材を構成している。



### 【言語活動の充実の工夫】

本題材において、言語活動の充実を通して図画工作科の資質や能力を高める手立ては次の2点である。

#### (1)「私の色世界」から「私の色紙」をつくることを通して、形や色などについて意識する。

低学年は、自分の感覚や気持ちと形や色が分かちがたくつながっている。また、活動を通して次々に発想する傾向がある。本題材では、まず、「私の色世界」を、思い思いに自分の好きな形や色で表す。次に「私の色紙」をつくることで、形や色を具体的に意識する。さらに、これははさみで切り取り、自分の感覚や経験を加えながら「ことば」にする。このような段階的な学習過程によって、形や色などに対する気付きを確実にするとともに、「発想や構想の能力」、「創造的な技能」を高めようとした。



#### (2)「アートゲーム」を行うことを通して、形や色、イメージなどについて考える。

低学年の児童が表した「ことば」は、①「こいのぼり」「ケーキ」などの具体的な名前と、②「いろとりどりのビーズ」「みどりのたつまき」など形と色がつながった言葉の二つに大きく分けられた。中には③「ピンクのキリンの首」「えのぐをぬられた白クマ」などの大人が思い付かない結び付きもあった。いずれも低学年なりの経験や感覚を生かしながら、形や色を「ことば」というイメージとして表したものである。このような「私の色紙」を用いて、「アートゲーム」を行うことは、自他の作品を見るという鑑賞の活動そのものを楽しむとともに、言語活動を通していっそう形や色、イメージなどについて考えることにつながる。



図画工作科において、話す、聞くという行為やそこで使用される言葉などは、本来的に豊かな表現活動から生まれるものである。そこに言葉を意識的に用いさせることによって、児童の「発想や構想の能力」、「創造的な技能」、「鑑賞の能力」が高まるように工夫した事例である。